

特集

奥尻島の観光

「室津祭り」



平成20年度の観光客の入り込み数、奥尻島歓迎キャンペーン事業のデータ等を参考にし、平成21年度【奥尻島の観光事業】の取り組みをご紹介します。

みんなの「島チカラ」で【癒しの島・元気になる島】を発信

平成20年度の観光客入り込み数は41,128人、去年より4,495人減、最も観光客が多く訪れた平成15年度の57,654人から減少し続けている現状にあります。

主な要因は、道内から訪れる個人客・団体ツアーの減少で歯止めをかけるため、観光関係者を中心にH19年度から「奥尻島観光客倍増プロジェクト～人・自然・食がもてなす奥尻島観光～」として各種事業を進めています。

北海道南西沖地震から15年の節目を迎えた昨年は、「島チカラ」をテーマに、元気な奥尻島のPRに取り組んできました。

滞在型観光を目指し、【奥尻島フットパス】・【鮑狩り体験】といった体験観光の推進、【奥尻ブイヤベース】・【ほっけのはんじゅく】など食の魅力づくりを推進しました。

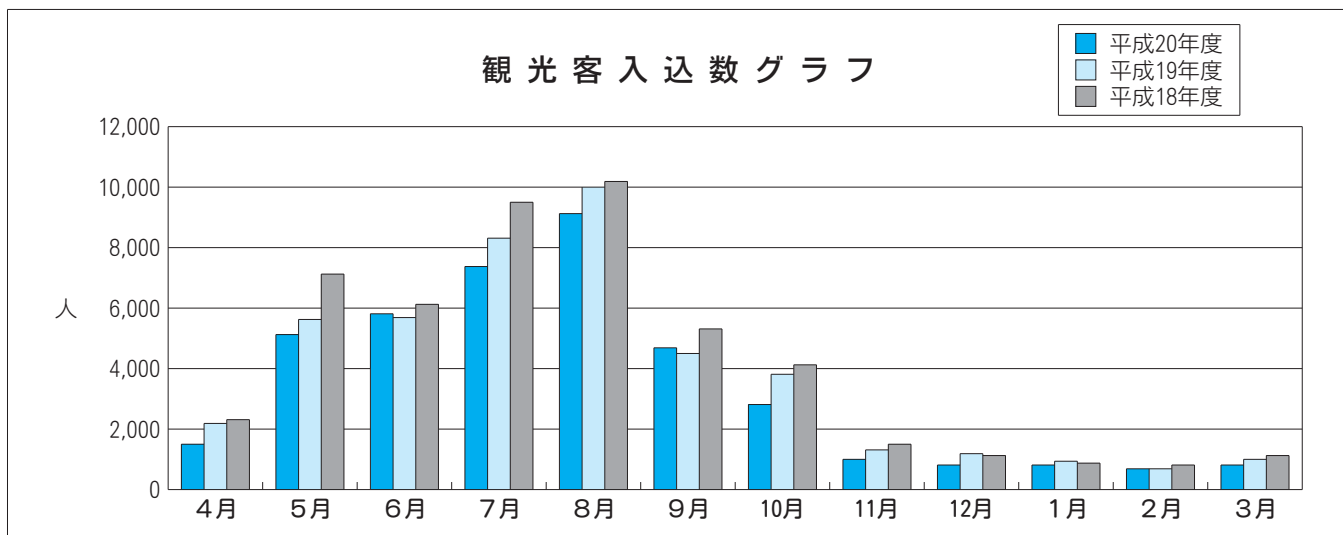
これらもより一層、地域資源や歴史を活用した観光事業を推進し、「癒しの島・元気になる島」を目指し、町民皆さまと共に積極的に情報発信していくことが大切です。

観光客入込数

(単位：人)

項目 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成20年度	1,548	5,132	5,853	7,490	9,101	4,748	2,861	1,069	846	849	737	894	41,128
平成19年度	2,298	5,654	5,731	8,317	9,971	4,529	3,891	1,312	1,211	915	724	1,070	45,623
平成18年度	2,374	7,137	6,167	9,594	10,221	5,303	4,180	1,533	1,121	897	852	1,113	50,492
対前年度同月増減	-750	-522	122	-827	-870	219	-1,030	-243	-365	-66	13	-176	-4,495
対前年度累計増減	-750	-1,272	-1,150	-1,977	-2,847	-2,628	-3,658	-3,901	-4,266	-4,332	-4,319	-4,495	-4,495
対前年同月比	67.4%	90.8%	102.1%	90.1%	91.3%	104.8%	73.5%	81.5%	69.9%	92.8%	101.8%	83.6%	90.1%

観光客入込数グラフ



(商工観光係調べ)

島人みんなで奥尻島の情報発信をしよう!!

見て・歩いて・食べて・遊んで・学んで情報発信のキーワードは《島〇〇〇》

その① 島まつり

奥尻島は出会いの島です。

出会いのきっかけを提供してくれるのは沢山の人が集う「まつり」です

一緒になって笑いあい・飲みあい・踊りあえば島の魅力はより一層ふくらみます。

自慢のイベントを是非皆さんでPRしましょう。

また、今年は島の人気キャラクター「うにまる」が、二十歳を迎え、様々なイベントに登場し、活躍が期待されます。

今年の三大祭の日程

● 賽の河原祭り

6月22日(月)・23日(火)

◇子ども相撲大会・ソフトボール大会・灯籠流しなど



▼「子ども相撲大会」(賽の河原祭り)

● 室津祭り

7月18日(土)・19日(日)

◇海の幸味三昧・活イカ釣堀大会など

● なべつる祭り

8月29日(土)



▲「ボート漕ぎ競争」(室津祭り)

◇島屋台・奥尻しりふり音頭・綱引き大会・島ダーツなど

その② 島の味

奥尻島の「あいうえお」はあわび・いか・うに・エゾバカ貝(さくら貝)・おくしり米といった食材があります。

定番の「焼あわび」「うに丼」「いか刺し」だけではない島の旬がイメージでき、価値を見出した食づくりは必要不可欠です。「奥尻ブイヤベース」「ほっけのはんじゅく」「元祖奥尻島三

平汁」などの奥尻らしい「食」

を島の言葉で説明して、提供すれば、その魅力はアップします。

ほかにも「いかの塩辛」「うにの一夜漬け」「ほっけ加工品」

などの自慢の水産加工品、アスパラやギョウジャニンニクなどの山の幸から奥尻スイーツ「シャーベット」など魅力ある食はたくさんあります。

また、4月10日に販売が開始された「奥尻ワイン」は、函館市で行われた「春の奥尻島フェア」や「函館西部地区2009春のバル街」においてマスメディアにも大きく取り上げられ話題を呼びました。

今後とも積極的な島食材の活用を進めて行きます。

▼今年4月に販売が開始された「奥尻ワイン」



その③ 島の歴史

「奥尻島津波館」や「稲穂ふれあいセンター」は、島の歴史を簡単に知ることができる施設です。

奥尻の遺跡に触れれば島の歴史を知ることができ、先人たちへの感謝の気持ちが湧いてきます。

町民の皆さまも、今一度、島の歴史を再発見してみたいかがでしょうか。

■「奥尻島津波館」

北海道南西沖地震の教訓を後世に伝える施設です。

6月下旬には青苗遺跡の墳墓から出土された「勾玉」が展示されます。

今年日程 4月中旬～11月末 期間中無休



▲「ほっけのはんじゅく」

開館時間 9:00～17:00
料 金 大人600円
小人200円



◀「稲穂ふれあい研修センター」

■「稲穂ふれあい研修センター」

奥尻島の遺跡から発掘された土器・石器、近現代の古民具などを展示しています。

週2回開館され、木村学芸員による詳しく・楽しく・分かりやすい解説が好評です。

今年の日程 5月～10月末

毎週木・土曜日

開館時間 9:30～16:30

料 金 無 料

※詳細については

教育委員会事務局

☎ 213890

その④ 島のついで

昨年7月に完成した奥尻島フットパス

トパスは、「空港・大寺屋敷コース」・「青苗岬めぐりコース」・

「奥尻の森と街コース」の3コースがあり、今まであまり知られていなかった島の自然や歴史など、新たな魅力が点在しています。

また、奥尻21世紀復興の森はブナの原生林をはじめ、北方系と南方系の樹木が共存する珍しい自然環境を学ぶことができます。

森の魅力や10月の紅葉が見所であり散策にお勧めです。

町民皆さまもフットパスと復興の森散策、是非一度体験してみてください。

一方、海では訪れた観光客の皆さまに、奥尻島名産「あわび」



▶奥尻島フットパス(米岡地区)

を養殖生簀で自分が実際にあわびを採る「鮑狩り体験」を奥尻島観光協会が窓口となり進めて行きます。

観光客は海の上で食べる「あわび」の味に感激、その場でお土産としてお買い求めができる便利さもあり、満足度が高い体験メニューとして定着しつつあります。



▲ 鮑 狩 り 体 験

このように、今後新たな観光資源の開拓を進めていきますが、島外の方へ向けたPRを観光関係者だけで行うことには限界があります。

町民皆さまも、今回ご紹介した観光メニューを一度体験され、新たな島の魅力を知り、島外の知人や友人に発信していきましょう。

平成21年度の観光事業のご紹介

■奥尻島観光協会運営事業

受入体制の充実を図るため、人気キャラクターにまるくんの観送迎、観光案内所サービス、フットパス・体験観光等の地域再生プロジェクトの事業展開を積極的に推進していきます。

ホームページでもブログ開設により、身近な情報・話題を提供していきます。

お問い合わせ先

- ・奥尻島観光協会新事務所 ☎ 213456
- ・観光案内所 ☎ 213096
- ※HPアドレス <http://www.unimaru.com/>

●奥尻島定期観光バス運行事業

- ・地元ガイドによる島の観光地をめぐる定期観光バス
- ・期 間 平成21年7月1日～8月31日
- ・出発場所 バスセンター(フェリー乗り場)
- ・運行時間 9:30出発コース
- ・(料金:大人、2千700円・小人、千500円)
- 15:30出発コース
- (料金:大人、3千円・小人、千700円)

●奥尻島歓迎キャンペーン事業

6m以上の観光等目的バスのフェリー片道航送料運賃助成制度を実施します。(7/8月に助成率変更、島の宿泊施設を利用した場合のみ。)

◇「観光パンフレット」が新しくなりました。

町では、観光パンフレットをリニューアルしました。新しい観光情報や自然景観を詳しく掲載しており、情報がぎゅぎゅ詰まった一冊に仕上がりました。観光案内所や空港などに備え付けてあります。詳しくは、奥尻町商工観光係(☎212351)までお問い合わせください。